

分野	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
教育目標 ・ 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の達成を念頭にいれ、職員の共通理解のもと教育活動を行う。 ・校務分掌相互の連携・調整をさらに行い、円滑な学校運営を行う。 ・学校行事等、教育活動をホームページや学校便り等を通じて、発信する。
研 究	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動で学校教育目標と重ねて、研究主題の周知徹底を継続する。 ・職員の業務過多により、研究や研修がおろそかにならないように、働き方改革を目指し、充実した研究・研修を行う時間を確保する。 ・ICT 機器の活用をさらに行うとともに、並行して言語活動が行える場の設定を行う。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実や ICT 機器を効果的に活用し、基礎基本を丁寧に指導行う。 ・評価についての説明を生徒・保護者にさらに丁寧に言い、理解を図る。 ・総合学習や道徳について、各学年主任や他の分掌と連携し、見通しをもって計画を行う。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の生活部会や、月1回のいじめアンケート、年3回の教育相談の充実を図り、生徒の状況を正確に把握し、いじめ防止等に努める。 ・職員が率先して挨拶を行い、継続して指導を行う。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となって飯山満中アップグレードと称して行動することができたので継続して、飯山満中がより良い方向に向かえるようにする。 ・生徒自らが活躍できるような場面設定を行い、リーダー育成に努める。 ・学級活動において、個人個人の役割を明確にし、集団の中の一員としての自覚と責任を育てる。
道徳・人権	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の見通しをもって年間計画を立て、学年の実態をふまえて授業を行う。 ・新しい授業展開例やアイデア等を共有する。 ・人権集会、人権作文等の指導を継続し充実させる。
進 路	<ul style="list-style-type: none"> ・進路説明会の充実を図り進路決定に向けての資料等を機をとらえて提示する。 ・今年度も行ったコーポレイトアクセスを継続し行い、系統性をもたせる。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況に応じた、個別の支援計画の充実を図る。 ・特別支援学級と普通クラスとの交流をさらに充実させる。 ・特別支援コーディネーターを中心に、校内研修の充実を図る。
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検等で、修繕が必要なものについては関係部署と連携し、整備を行う。 ・掲示物等を充実させる。